

# 競技注意事項

1. 本選手権大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。

## 2. 競技場使用について注意

- (1) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。利用は短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。
- (2) 練習は補助グラウンドを使用すること。
- (3) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。  
(※大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと)

## 3. 競技者招集

(1) 招集時間は下記のとおりとする。

### ① トラック競技・フィールド競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻45分前開始、30分前に完了
2次招集	スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

### ② リレー競技

オーダー提出締切・1次招集	招集所にて	1組の1次招集完了時刻60分前に完了 (※オーダー用紙は、当日、招集所で配付する。)
2次招集	それぞれの走者スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

(2) 招集場所及び方法は次のとおり。

### ① 1次招集は、招集場(競技本部、上の園路沿いスペース)で行う。

- ア. 提示されたりストの自分の番号に○をつける。
- イ. トラック競技は「腰ナンバー標識」をとる。
- ウ. アスリートビブスの点検は2次招集(現地)で受けるのでまずは自分で確認しておく。
- エ. ア〜ウが完了したら、各自で競技場所(現地)へ移動する。

### ② 2次招集は、競技場所(現地)で行う。(競技箇所図を参照)

- カ. 代理人は認めない。
- キ. 競技役員の指示に従って、最終コール及びアスリートビブスの点検を受ける。
- ク. 2次招集完了時刻に現地にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

## 4. 競技について

### 全般

- (1) トラック競技及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) ナンバーカードは胸背部につける。但し、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。

### トラック競技

- (3) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバーカード」を右腰やや後方に貼り付けること。
- (4) トラック種目のうち60m、100mは、記録順に上位8名を選び第2レースを行う。但し、同組以外で同タイムの者は抽選する。同組で同タイムの場合は着順を優先する。
- (5) セパレートレーンを使用する競走種目(60m、100m、4×100mR)では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (6) リレー競走で使用するマーカー(5cm×40cm以内の粘着テープ)は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。
- (7) 100m以下のトラック種目における小学生ルールは以下のとおりとする。
  - ① スタートブロックは使用しない。
  - ② スタート方法はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
  - ③ スタート時に、同じ選手が2回不正スタート(フライング)をした場合は失格とする。

### フィールド競技

- (8) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。  
投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。
- (9) フィールド種目の試技は全員3回行い、ベスト8位によってさらに3回の試技を行う。

### シューズについて

- (10) スパイクは使用してもよい。  
スパイクピンはの長さは9mm以内の平行ピンを使用すること。  
※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン(ニードルピン)は使用できない。  
※素足での競技は禁止する。

## 5. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。  
プログラム表紙及び園内各所に掲示するQRコードを読み取るか <http://hokutan-rk.sub.jp/> にアクセスすることで閲覧することができる。

## 6. 感染症対策について

- (1) 3密を避けた行動を徹底すること。
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
- (3) 自身において、日々の体調管理を行うこと。
- (4) 発熱、咳嗽等の症状がある場合、または感染症快復後十分な時間を経過していない場合は、出場・観戦を自粛ください。
- (5) マスクの着用は個人の判断で行ってください。ただし、気象条件によっては、熱中症予防の観点からマスクを外すことを推奨します。

## 7. その他

- (1) 競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。  
(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 主催者・共催者・主管者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (3) 競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。
- (4) 競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。(保険対象となる場合有り)
- (5) ウィルス性の感染症や悪天候などを含む、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、または種目内容を変更する場合がある。中止や変更などが生じた場合の詳細は北丹陸上競技協会のホームページで発表する。

# グラウンド内競技箇所図

